

教員 EA プロジェクト応募資料

応募区分	教育実践部門「恵那市の魅力を英語で発信しよう」
所属（園・学校名）	恵那市立恵那東中学校区 4 校（恵那東中学校、大井小学校、大井第二小学校、東野小学校）
氏名	恵那東中学校区 4 校英語科教員 代表：恵那東中学校教頭 勝川秀樹 東中（勝川、土屋、各務、河原、尾関）、大井小（龍田）、大井二小（松井）、東野小（中神）
取り組んだ課題	恵那市では子どもの数が減少してきており、地元の文化や伝統の継承が十分にできない状況が生まれつつある。一方、中山道大井宿目当ての欧米からの外国人旅行者は大幅に増加してきている。こういった実態（課題）を踏まえ、恵那の子供たちに地元の魅力（文化や歴史）についての理解を深めさせ、その知識を活かして英語で発信する活動を仕組み、自分とふるさとを愛する子供を育てられると共に、地域の活性化にもつながると考えこのプロジェクトを企画した。
具体的な活動内容 （別紙参照）	<p>（令和 4 年度 4 月）大井地域学校協働本部と恵那東中校区の小中学校の校長とで上記の活動のねらいの確認や活動内容及び活動方法を検討した。</p> <p>（令和 4 年夏休み）小中学生にボランティアを募り、恵那東中学校を活動の拠点として、大井宿や恵那の歴史について英語で説明できるよう練習した。恵那市国際交流協会や地域の英語指導者と連携をして指導にあたる。英語ボランティアとして応募した児童生徒約 20 名が参加。</p> <p>（令和 4 年 2 学期より）恵那東中学校と定期的にオンラインで英会話交流をしている台湾嘉義市北興国民中学校、シンガポールインターナショナルスクールの生徒に向けて、恵那の魅力を英語で伝える活動を開始。合計 7 回の交流会を行い、毎回、約 20 名の小中学生がボランティアとして参加。</p> <p>（令和 5 年 5 月）中京高校の姉妹校（カナダ）の中学生約 30 人が恵那東中学校を訪問。恵那の文化を英語で伝える活動を行う。</p> <p>（令和 5 月 26 日、27 日）嘉義市北興国民中学校の生徒約 20 名が恵那東中学校を訪問。27 日（土）は、大井宿の街並みを小中学生英語ボランティアが案内をした。</p>
取り組み成果 （別紙参照）	<p>【児童・生徒の変容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の魅力を異なる文化・言語をもつ人へ発信したことで、より深く恵那の良さを知ることができた。 ・異なる文化や言語をもつ人々との交流を通して、自分たちの文化を伝える楽しさを味わうと共に、もっと英語を学習したいという意欲の高まりにつながった。特に小学生の英語ボランティア参加者からは、中学校での英語学習が楽しみになったという声が多く聞かれた。 ・中学校レベルの英語を超えて更に英語力を高めようとする中学生が出てきた。 <p>【地域の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の活動が恵那市の観光の発展に寄与する素晴らしい取組に感謝している。
今後の活動展開	台湾嘉義市北興国民中学校とのオンライン交流を中心に、海外との文化交流は継続、発展させていく。今年 8 月には、恵那東中地区に設置してある歴史建造物等の観光案内板が刷新されることに伴い、看板に新しく QR コードを挿入し、それを読み取ると、児童・生徒がそれぞれの建造物等について英語で説明をする企画が進行中。
大井小学校 校長 吉村 良 所見	恵那市の課題と実態を捉え、勝川教頭を中心に充実した取組ができています。特に素晴らしいのは、子ども達が進んで英語ボランティアに参加し、地元の魅力を伝える楽しさを味わったり、英語力向上の意欲を高めたりできている点である。また、こういった英語の学びの先にあるものが地域の活性化であることが実に見事である。



シンガポールの高校生と交流しました。恵那東中校区の小中学校がチームとなって恵那市の魅力を英語で発信する初めての試みでした。(令和4年9月)



カナダの高校生が恵那東中へ来校しました。恵那の歴史や文化について英語で発信するグループ活動の様子です。(令和5年5月)

恵那の子供達が自分とふるさとを愛するようになることをねらいとして、大井地域学校協働本部、恵那東中学校、大井小学校、大井第二小学校、東野小学校、恵那市国際交流協会が連携して「恵那市(大井宿と恵那の食文化)の魅力」を英語で発信しよう」の活動をしています。

橋本屋跡

The ruins of Hashimoto-ya
Description in English



今年の夏以降には、中山道大井宿にこのような看板が出現する予定です。QRコードを読むと小中学生が英語で宿場町を案内をします。



台湾嘉義市 (Chiayi City) Pei-Shin Junior High School とは、昨年の7月より約2ヶ月ごとに7回のオンライン文化交流を行いました。この交流が縁で恵那市での実交流となりました。(令和5年5月来日) Pei-Shinからは25名の生徒が参加し、恵那東中での授業体験や恵那の街探検をしました。中学生だけでなく小学生ボランティアも大活躍し、小学生達は中山道大井宿行在所にて英語で案内をしました。次は台湾での交流かな？(令和4年7月～現在)

子供の感想 恵那東中3年1組 女子

一言で言うと、とても楽しかったです！そして、交流に至るまでon-lineでの国際交流に参加してきて本当に良かったなと思います。台湾の人たちと英語でコミュニケーションをとるのは、正直レベルが高いと感じる時もありましたが、それ以上にとにかく楽しくて面白かったです。一緒に授業を受けたり、生活したりする中で本との違いも様々な場面で見つける事が出来ました。台湾の学校は技術が進んでいたり、学年が1つ下なのにも関わらず3年生の問題をスラスラ解くなど、まるで同年代だと思ってしまうくらい頭の良い生徒たちでした。今回、ペイシンの人達とインスタなどで繋がる事も出来ました。DMなどを使って英語で会話する事によってもっと沢山の表現を使える様になりたいです。私は、小学生の頃から英語が大好きで、留学したいという夢があります。今回、この2日間の交流で学んだ事を忘れずに、これからも様々な活動に参加し英語にふれていきます。

子供の感想 大井小6年2組 女子

みんな協力してアンドレア(台湾の小学生)に行在所案内できたので楽しかった。写真も取れていい思い出になった。アンドレアや台湾の皆さんと交流して、住んでいる国や話す言葉が違ってても共通の言葉があれば、これまで仲良くなれるんだなあと思いました。私はもう少し英語をしゃべれるようになってきたらもっと楽しい交流ができると思います。